

おおまるやま こ ふんぐん  
10. 大丸山古墳群

所在地：鯖江市下新庄町

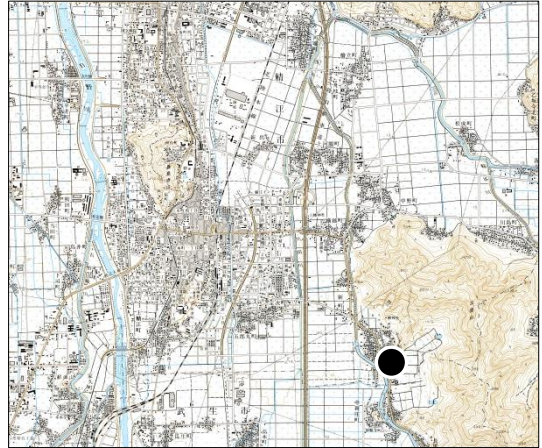
調査原因：北陸新幹線建設事業

調査期間：平成 30 年 4 月 2 日～10 月 31 日

調査主体：福井県教育庁埋蔵文化財調査センター

調査面積：2,500 m<sup>2</sup>

時期：弥生後期～古墳時代後期、中世、近世



位置図(1/50,000)

**調査の概要** 大丸山古墳群は、三里山の西方、標高 51mを測る独立丘陵上に位置します。昭和 11 年に大丸山南麓にあった古墳から鏡や玉類が出土したことが斎藤優氏により報告されており、丘陵周辺に古墳が存在することは古くから知られていました。

大丸山東方に位置する三里山にも新村・東山古墳群など 10 か所以上の古墳群が確認されており、調査地周辺には多くの古墳が作られました。また、松山城などの山城も古墳群と重なるように所在していることが知られています。

昨年度の調査では、主に墳丘墓 2 基、古墳 7 基を確認したほか、中世の山城に関する平坦面や腰曲輪を調査しました(第 1 図)。以下、時代ごとに詳しい内容について報告します。

#### 遺構・遺物

**弥生時代** 墳丘墓 2 基(6・7 号墓)を検出しました。いずれも墳形は方形であり、墳長 8～9mの小型のお墓です。

6 号墓には、2 つの埋葬施設があり、いずれも木製の板材を組み合わせた、いわゆる組合式の箱形木棺が用いられたと考えています。第 1 埋葬施設からは緑色凝灰岩の管玉 1 点が出土しています。また、木棺内や木棺を固定するために用いた裏込土から弥生土器の小片が出土し、このお墓の墳頂部で土器を割る儀礼がなされたと考えます。

7 号墓には、3 基の埋葬施設があり、丸太材を刳り貫いて作られた、いわゆる割竹形木棺が用いられていたと考えています。3 基の埋葬施設のうち 2 基は小型であり、小児のための棺であった可能性があります。第 1 埋葬施設から勾玉 2 点、管玉 2 点が出土し、第 2 埋葬施設の棺内からは、鉄剣 1 振、ヤリガンナ 1 点が出土しています。

出土した土器から考えると、6 号墓は弥生時代後期、7 号墓は後期末頃に位置付けられ、約 2,000 年から 1,800 年前に作られたものと考えています。

**古墳時代** 古墳 7 基(1～5・8・9 号墳)を検出しました。2・5・8 号墳が方墳、1・3・4・9 号墳が円墳であり、いずれも墳長 10m前後の小型の古墳です。埋葬施設は 5・8・9 号墳に各 1 基、1・3・4 号墳に各 2 基がありました。2 号墳の埋葬施設は、山城を作る際に大部分が削られていましたが、埋葬施設と推定する箇所には赤色顔料が残っており、1 基以上の埋葬施設があったものと推定しています。また、赤色顔料は、1・3

号墳埋葬施設でも見られました。8号墳以外には、割竹形木棺を用い、埋葬したものと考えます。

8号墳の埋葬施設は、他の古墳にはない特徴がみられ、裏込めに拳大から人頭大の礫を多量に用いられていました。(写真1)。埋葬施設には、木槨または長大な箱形木棺を用いられた可能性が考えられますが、今後詳細に検討する必要があります。

1・3・4・8号墳埋葬施には、鉄剣、鉄刀、鉄鏃の武器類のほか、小型の鏡、勾玉、管玉、ガラス小玉などの装飾品、鉄斧や鉄鎌などの農工具が副葬されていました。また、1号墳第1埋葬施設棺内から須恵器蓋杯4組、壺1点が並んだ状態で出土し、4号墳では第2埋葬施設西側の土坑から須恵器広口壺1点、高杯1組など土器類も出土しています(第1表)。特に3・4号墳から出土した遺物は、種類が比較的豊富であり、貴重な発見となりました(写真2)。

お墓の形や出土した遺物から考えると、2・5・8号墳が古墳時代前期、3・9号墳が中期、1・4号墳が後期に位置付けられ、約1,750年から1,500年前に造られたと考えます。

**その他の時代** 山城に関する遺構として、平坦面10か所、腰曲輪5か所を確認しました。平坦面は主に古墳の墳頂部を削平または盛土することで作り出していました。平坦面の周囲は急斜面(切岸という)に成形され、また細長く削り出した腰曲輪がそれらを巡っていました。出土した遺物は少なく、利用されていた時期を決めることが難しいですが、本山城は大丸山北方12kmに位置する一乗谷城を守るために作られたと考え、戦国期(約400年前)の遺構だと推定しています。

その他の遺構として、近世の採石場遺構が挙げられます。採石坑は、丘陵の最も高い位置に2か所、調査区の北側に3か所を確認しています。採石場遺構には工具の跡が多く認められ、石を切り出し、石臼などの生活具に用いられたと想定しています。

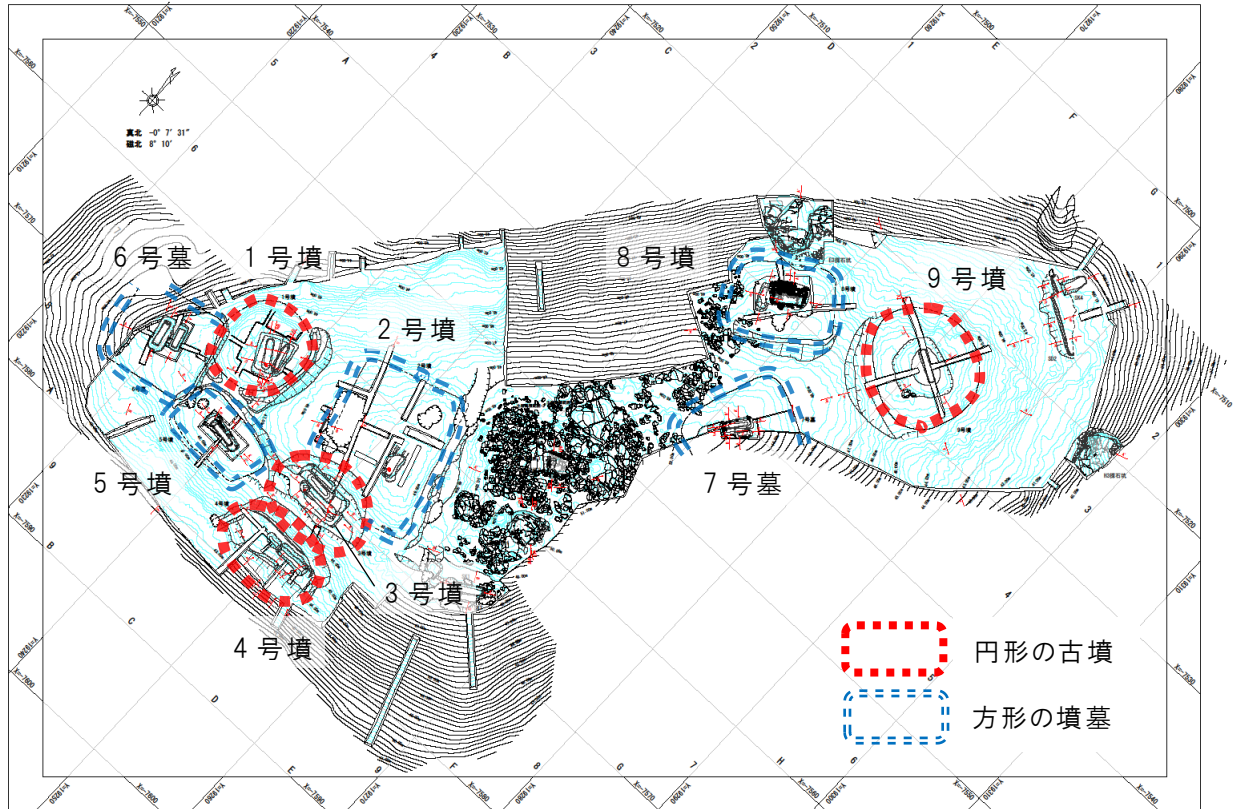
また、平安時代の須恵器が出土していることから、この時期にもこの地が人々の活動の場になっていたことが想定できます。(三原翔吾)



写真1 8号墳第2埋葬施設(南西から)  
〔裏込めとして多量の礫が用いられる〕



写真2 3号墳第2埋葬施設出土品(北から)  
〔鉄刀・鉄鏃・勾玉などが出土した状況〕



第1図 調査区全体図(下層遺構面、S=1/500)

第1表 古墳の特徴と出土品一覧表

遺構名称	形	墳丘直径(m)	時期	副葬品 ※括弧内の数字は出土数量					埋葬施設以外の出土品		
				出土位置	刀剣類	鉄製品	鏡	玉類		土器	
1号墳	円墳	8.2~8.4	古墳時代後期	第1埋葬施設	-	刀子(1)	-	-	須恵器	勾玉(1)	
				第2埋葬施設	鉄刀(1)	刀子(2)	-	-	-	須恵器	
2号墳	方墳	9.5~13.2	古墳時代前期	墳丘外埋葬施設	鉄剣(1)	-	-	-	-	土師器	
3号墳	円墳	推定9	古墳時代中期	第1埋葬施設	鉄刀(1)	鉄鏃(6)	-	-	-	-	須恵器
				第2埋葬施設	鉄刀(1)	鉄鏃(12)	素文鏡(1)	勾玉(2) 白玉(21) ガラス小玉(39)	-	-	
4号墳	円墳	推定11	古墳時代後期	第1埋葬施設	-	-	-	-	-	-	須恵器
				第2埋葬施設	鉄剣(1)	鉄鎌(1) 鉄斧(1)	-	白玉(124)	須恵器 土師器		
5号墳	方墳	8.6	古墳時代前期?	埋葬施設	-	-	-	-	-	-	
6号墓	方墳	8.2	弥生時代後期	第1埋葬施設	-	-	-	管玉(1)	弥生土器	弥生土器	
				第2埋葬施設	-	-	-	-	-	-	
7号墓	方墳	約9.8	弥生時代終末期~古墳時代初頭	第1埋葬施設	-	-	-	勾玉(2) 管玉(2)	弥生土器	弥生土器	
				第2埋葬施設	鉄剣(1)	鈹(1)	-	-	-		
				第3埋葬施設	-	-	-	-	-		
8号墳	方墳	6.6~8.9	古墳時代前期	埋葬施設	-	-	-	管玉(6) ガラス玉(6)	-	土師器	
9号墳	円墳	9.1~10.5	古墳時代中期	埋葬施設	-	-	-	-	-	土師器	